

陸軍ニュース：中国がロケット砲の輸出を増加

漢和防務評論 20160203 (抄訳)

阿部信行

(記者コメント)

中国が” 一帯一路” 地域国家への武器輸出を強化していることは報道されている通りです。

新型戦闘機などの高価な武器は、貧しい国は購入できませんが、そこそこ高性能で価格も手が届く陸戦兵器は売りやすい商品なので、中国は、アフリカ、中央及び東南アジアの国々への武器売り込みを促進しています。

中国製兵器は、品質に疑問があると言われていますが、カタログ性能は一流で、外見がロシア製や西側製兵器にそっくりなので、軍事パレード用には最適です。

KDR ドバイ特電：

今年（2015 年）の一連の国際武器展示会以降、中国の武器メーカーは、武器輸出に対する” 一帯一路” 戦略の重要性を反復強調している。特にドバイ航空ショーでの FC-31 の輸出説明会等の場合、顕著であった。

中国は、” 一帯一路” 地域に対するロケット砲、戦闘機、航空誘導爆弾の輸出圧力を強めている。中国軍事工業界の権威筋は：中国はバングラディッシュ陸軍に射程 40 KM の WS-15、WS-22 多用途ロケット砲を輸出したと、述べた。引き渡しは 2014 年から始まった、と。

上述の 2 種のロケット砲は、中国航天長征国際貿易有限公司（AEROSPACE LONG-MARCH INTERNATIONAL TRADE CO.LTD (ALIT)）の製品であり、WS-22 は、WS-15 の改良型である。前者は GPS 誘導システムを採用している。したがって打撃精度は大幅に向上した。射程は、20 乃至 45 キロメートル (KM) である。WS-22 及び WS-15 ロケット弾の弾体重量はそれぞれ 73 キログラム (KG)、73.5 KG、長さは、それぞれ 3030 ミリメートル (MM) 及び 2999.5 MM、直径は両者とも 122 MM である。弾頭重量はそれぞれ 21 KG、21.5 KG で、40 連装である。WS-22 の CEP は 100 メートル (M)。このロケット砲は中国陸軍は採用せず、輸出に回された。バングラディッシュ国の需要は多く、2 種類のロケット砲の輸入数量は 2 個大隊分以上である。カンボジアもかつて 1 個連隊分の WS-15 の購入契約を締結したが、今のところ提供されていない。予算が欠乏した可能性が高い。

中国が AR-3 長距離ロケット砲を輸出

漢和防務評論 20160203 (抄訳)

KDR バンコク特電：

中国北方工業公司の消息筋は、**KDR** に対し次のように述べた：中国は、2014 年アフリカ州のある国家に対し **AR-3** 型長距離多用途ロケット砲（**MLRS**）を正式に輸出した。同国とは秘密協定を結んだので、どの国が買ったとは言えない、と。中国が **AR-3** を輸出するのは初めてである。**KDR** は、これ以前に **UAE**（アラブ首長国連邦）も輸入交渉中であることを知っていた。

AR-3 は、口径 300 MM/370 MM のロケット砲の中で、射程が最も長く、命中精度が最も高い。5 種類の弾体が選択でき、**BRC3/4** 型は直径 300 MM、射程は 70 から 130 KM である。**BRE2** 型は、射程 130 KM である。**FIRE DRAGON**（火龍）140A 型の直径は 300 MM、射程 130 KM、GPS 誘導を採用、**CEP** は 50 M である。火龍 220/280 型の直径は 370 MM、射程はそれぞれ 220 KM、280 KM である。

消息筋は、アフリカの国にどのタイプの弾体を輸出したのか明らかにしなかった。**KDR** は、以前にアフリカのある国の消息筋からエチオピア陸軍が少なくとも 1 個連隊分の **AR-2** 型ロケット砲を購入しすでに受領したとの感触を得た。**AR-2** は、**BRC-3/4**、**BRE-2** 及び火龍 140A を使用している。**KDR** は、エチオピア陸軍が火龍 140A を購入したのを確認した。

AR-3 が 370 MM 口径の弾体を使用する時は、4+4 連装を採用し、300 MM の弾体を使用する時は、5+5 連装を採用する。後者は以前 **AR-1** とされていた。

このように長射程でかつ命中精度の高い多用途ロケットは、射程が 220 KM を超えた場合、如何に位置評定し、如何に命中精度を確認するのか？これに対して設計師は次のように述べた：通常、**ASN-209** 無人機により位置評定し、効果を評価する、と。

以上